

## 活動を通じて 技術教育けん引

スペシャリストの会  
総会・プレ全国大会

日本測量協会（日測協、清水英範会長）が設けた空間情報総括監理技術者の有資格者で構成するスペシャリストの会（SPの会、瀬戸島政博会長）は21日、東京都文京区の日測協本部で2022年度総会を開き、事業計画と予算案を承



認した。併せて特別講演会とプレ全国大会を開き、オンラインを含め約200人が参加した。冒頭、瀬戸島会長は「05年に発足し、現在は会員が

371名に達した。よつや全国規模の大会を開ける実力を持ちつつある。空間情報への社会の期待が高まっており、活動を通じて技術教育をけん引したい」とあいさつした。写真。

22年度は「全国地理情報コンサルセミナー（仮称）」の主催や北陸支部設立への準備、本部・支部横断型の研究会・勉強会の設立、地域の技術者育成支援などに取り組む。

総会に先立ち、東京農業大学の國井洋一教授が「クラウドスケープと空間情報」、アクセルスペース（東京都中央区）の中西佑介取締役兼最高製品責任者（CPO）が「超小型衛星コンスタレーションによる衛星データ活用の現状と未来」と題して講演した。総会後は中部支部、関西支部、本部がそれぞれ活動状況の報告やパネルディスカッションを行った。